AR PRIMER

ＡＲプライマー

溶融亜鉛メッキ面など各種基材への密着に優れた下塗り塗料。
旧塗膜のリフティングや縮み現象を起こしにくく塗り替えにも適しています。
ペイントシンナーＡで希釈ができ、硬化剤不要な１液タイプですのでポットライフを気にすることなく、使いやすい下塗り塗料です。

試験成績表（社内試験による）

容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業に支障があってはならない	合格
乾燥時間（ｈ）	３以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない	合格
耐屈曲性	直径６mm の折り曲げに耐えるものとする	合格
付着安定性	はがれを認めないものとする	合格
耐複合サイクル防食性	３６サイクルの試験に耐えるものとする	合格
加熱残分%	６０以上	合格
エリクセン値	５以下	合格
溶剤不溶物%	４０以上	合格
防せい（錆）性	１２ヶ月の試験で塗面にさびがなく、塗膜をはがしたとき、さびの程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	混合比	塗装回数	標準使用量（kg/㎡）	乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
下地調整	高圧洗浄、3種ケレン程度の処理を行い、さび、劣化塗膜、ゴミ、汚れなどを除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	ＡＲプライマー	–	1	0.10～0.12	16時間以上	ペイントシンナーA	5～10	ハケ、ウールローラー
上塗り	エコパワーウレタン	９：１	1	0.13～0.15	６時間以上	ペイントシンナーA	0～10	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当り(16kg）/１工程
ＡＲプライマー	16kg	ホワイト、グレー、ブラウン、ダークグレー	つや消し	133～160㎡

カナエ塗料株式会社 *http://www.kanaepaint.co.jp/*

概　　要

主用途	亜鉛メッキ製品、鋼構造物
適用下地	溶融亜鉛メッキ面、カラートタン、鋼板など
主要組成	アクリル系
荷姿	16kg
色	ホワイト、グレー、ブラウン、ダークグレーなど
仕上がり	つや消し
塗装器具	はけ、ウールローラー、エアレススプレー
希釈剤（希釈率）	ペイントシンナーＡ（はけ、ローラー5～10%） （エアスプレー10～20%） （エアレススプレー5～20%）
間隔時間（２３℃）	工程内16時間以上、最終養生24時間以上
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず
防火認定	該当せず
消防法表示	第４類第２石油類
適合下塗材	エコパワーウレタン、エコパワーマイルドシリコン

施工上の注意事項

①塗装時 0℃以下、 塗装後 0℃以下の気温が連続することが予想される場合、 または塗装時の湿度85%以上の場合は施工しないでください。
②水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、 規定の希釈量をまもってください。
④硬化剤は湿気で変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
⑤ペイントシンナー A 以外（例えばウレタン用シンナーなど）での希釈は絶対に避けてください。
⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。 著しい結露が予測される場合は、 塗装を避けるか、 溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、 塗装を避けてください。 やむを得ず塗装する場合は、 強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。
⑧溶剤系塗料のため、 室内での塗装は必ず換気を行ってください。 また外部での塗装においても、 換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。 居住者への配慮をお願い致します。
⑨屋外の塗装で降雨、 降雪のおそれがある場合、 および強風時は塗装を避けてください。
⑩塗装時および塗料の取り扱い時は、 換気を十分に行い、 火気厳禁にしてください。
⑪飛散防止のため必ず養生を行ってください。
⑫ローラー塗りの場合、 ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。 ローラー目により、 色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
⑬汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
⑭塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。
⑮開封後は一度に使い切ってください。 やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、 速やかに使い切ってください。
⑯塗料漏洩の原因になりますので、 保管、 運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■製品の安全に関する詳細な内容については、 安全データシート（SDS）をご参照ください。